

日恵野佳代 (無党派 日本共産党)

市内経済を回す対策について

問 9月定例会で住宅リフォーム助成制度の再開を提案したが、市は持続的経営を下支えする支援策を検討すると答弁した。検討の進み具合と実施時期は。

答 感染拡大防止を図りつつ持続的経営と発展への支援実施は引き続き課題と感じている。

医療と介護の崩壊を防ぐために

問 PCR検査実施状況、新型コロナウイルス感染症専用病床の利用状況は。

答 検査は豊川保健所、蒲郡市民病院及び市内診療所で実施し、公表している7か所以外にも医師の判断で必要時に行っている。病床数は一時的に疑いのある方の入院病床を含め13床を確保している。具体的な利用状況は示せないが、県全

体では厳しい状況である。

青山義明 (自民党市議団)

落合川について

問 落合川の護岸状況について伺う。

答 9月の豪雨により冷越橋北の両側の護岸が崩れ、道路側は一部陥没したため早急に復旧を行なった。予測が難しい集中豪雨が発生した場合、樋門が水の流れを阻害するため、今後の対策について伺う。

答 護岸の嵩上げ後、樋門の撤去を行う。それま



落合防潮樋門

では6門の内、閉鎖している両端2門を常時全開する。

鳥獣被害対策について

問 防護柵設置状況について伺う。

答 令和3年度に豊岡地区の約1・8kmの設置が完了すれば、全長約33kmになる。

問 防護柵の補修等に、国の事業を活用できるか。

答 国の多面的機能支払交付金事業が活用できる。

藤田裕喜 (市政クラブ)

「おくやみコーナー」について

問 死亡に関する手続をワンストップで受け付ける「おくやみコーナー」を導入してはどうか。

答 死亡手続は総合窓口サービスでの手続の一つであるため、おくやみに限定した窓口は考えていない。死亡に伴う手続等を解説した「おくやみハンドブック」を作成しては。

市民の手助けになると考え作成を検討したい。



問 平日昼間に開催されているが、平日の午前や土日、祝日に開催することも検討すべきではないか。

乳幼児健診について

答 身近な医師に診てもらえるよう、医師会・歯科医師会に委託している。平日の午前中は診療と重なるため、現在の時間帯や曜日を変更する予定はないが、日程の調整に応じている。

柴田安彦 (無党派)

蒲南土地区画整理事業について

問 事業認可から51年が経過している。事業期間の長さは全国的にもレアケ

ースと考えるが市の認識は。全国的なデータは持ち合わせていないが、県内で一番長い事業となつている。少しでも早く換地処分ができるよう努めていく。

問 区画整理により資産価値が減る事例がある。差額清算方式でなく、駅南土地区画整理事業で採用している比例清算方式で算出するようになるか。

答 現在、換地設計されている整理前後の宅地の評価をそのまま異なる清算方式に当てはめても、正しい結果は得られない。評価を見直す考えはなく、具体的な数値は示せない。

